



オアシス

文責：学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2023年1月17日発行 第57号

遅くなりましたが、新年おめでとうございます！今年こそは、コロナ禍も収まり世界的には平穏な日々が訪れるようお願いしたいものです。

さて、新年といえますと神仏に祈り願い、願掛けをすることが常だと思いますが、皆さんはどんな願いをされたのでしょうか…？しかし、神様・仏様にいくらお願いをされてもそう叶うはずはありません。要は自分自身の決意や志が明確にあるのかが問われているのかもしれない…。その願いを叶えるには、「目的や目標、手段をはっきりさせることが肝心」と新聞記事に目が留まりました。例として掲載されていたのは、「2年後に留学するために（目的）、TOEFLで高得点をとりたい（目標）、だから毎日15分のラジオ講座を必ず聴く（手段）」とありました。今年の干支兎年は、飛躍の年ともいわれます。何か目的意識をもって取り組むことが祈願成就につながることを思います。

◎ アウトリーチ事業が好評！

今年度もアウトリーチ事業は順調に推移して、1月末をもってすべての訪問先を終える予定です。訪問後のアンケートを拝見するに、皆さんから高評価をいただいていることが感じられ、アウトリーチ事業の効果が発揮できているようです。しかし、今年度もコロナ禍の影響でやむなく中止せざるを得なかった施設があったことが悔やまれるところです。

今年度のアウトリーチの編成は次の4編成で実施しました。

A【クラリネット・ヴィオラ・チェロ・ピアノのアンサンブル】

B【ファゴット・トランペット・トロンボーン・コントラバス・パーカッションのアンサンブル】

C【ソプラノ・テノール・ピアノのアンサンブル】

D【ソプラノ・ヴァイオリン・トロンボーン・パーカッションのアンサンブル】

上記アンサンブルが訪問した施設からのアンケートを一部ですが紹介します。

*ジブリ曲など知っている子は口ずさんだり、体をゆらして音楽を楽しんでいたと思います。「楽器を演奏してみたい！」とあこがれの気持ちをもった子もいました。生の音楽（楽器）の音色を初めて聴いたり、見たりした経験がきっとどこかで心に残っていたり、今後表現する力につながってくるのではと感じました。何より「楽しかった」という子どもたちの声がたくさんあり、今後もこのような機会があれば嬉しく思います。ありがとうございました。（保育園）

*日頃、聴くことが出来ないプロの方々演奏を幼稚園で聴かせてもらうことが出来て、感謝の気持ちでいっぱいです。音楽家の方々が気さくに子供たちに語りかけてくださったり、子供たちが演奏を鑑賞する姿をありのまま受け止めて下さったりしたことで、リラックスした気持ちで楽しむことが出来ました。（幼稚園）



裏面へ

*プロの方の素晴らしい生演奏を聴く機会を設けていただき、本当に感謝しております。子ども達がよく知っている歌を歌ったり、弾いたりしてくださったので、子ども達もとても楽しんで聴くことができていました。途中で体遊びも取り入れてくださり、みんなで一緒に音楽を楽しむことができたのもとても良い時間でした。無理を言って、急遽歌の指導もしていただきました。呼吸の仕方、口の開け方等、分かりやすく教えていただき、指導法についても学ばせてもらいました。子ども達は、生の演奏を聴く機会はありませんので、とても良い機会になりました。また、音楽の素晴らしさや魅力を感じることができたと思います。本当にありがとうございました。(小学校)



お知らせ！

アウトリーチ事業は、出雲フィルハーモニー・チェンバーオーケストラの楽団員で編成されたアンサンブルです。各施設へお邪魔したメンバーが、集大成として次のとおりコンサートを開催します。まさに音楽家との再会の場です。また、今回は『ニューイヤークンサート2023～ヨーロッパからの風～』として、ドイツからゲストコンサートマスターをお招きし、ワルツやオペレッタなど本場ヨーロッパの雰囲気を感じられるコンサートです。是非、ご家族お揃いでお出かけください。

◆日時：2023年2月11日(土祝) 14:00開演(開場13:30)

◆会場：出雲市民会館 大ホール ◆入場料：一般1,600円 高・大生800円 中生以下無料

◎ 音楽サロンも順調に推移！ <大社文化プレイスうらら館ごえんホール開催>

LPレコード音楽サロンも12月で第8回を終え、申込者も定着しつつ少しずつですが初参加者も増えてきていることに喜んでいるところです。第8回は、「クリスマスイヴにブラームスを！」というテーマで、ブラームス作曲「交響曲第4番」をメイン曲に設定しました。演奏は、ブルーノ・ワルター指揮でコロムビア交響楽団のレコード盤を採用しました。出雲市図書館からの寄贈品であり、かなり使用歴のある盤でノイズがあるにもかかわらず参加者からはとても好評でした。この盤選びについては、事前に8枚のレコードから比較選曲会を開催しました。9名もの参加があり、2枚のレコードに絞られ、最終的には冒険心があり情熱的なブラームスに決定させていただきました。

後半は、米山名誉学長によるミニ講座を開催しました。クリスマスにピットリリのチャイコフスキー作曲「くるみ割り人形」をスコアで音符を追いながら鑑賞する試みに、多くの参加者から大変参考になったという声があがっていました。次回、第9回はブラームスシリーズ最後になります。「二重協奏曲」をメインにカップリング曲を選定中です。詳細は、ホームページ又は広報「いずも」2月号をご覧ください。



つぶやき

正月明けの番組表で「音楽のまちプロジェクト」が目にとまり、思わずドラマを視聴しました。番組冒頭、ドイツの「ライブチヒ・ゲバントハウス管弦楽団」が演奏しているのではないですか…。主人公はバイオリニスト役ですが、昨年の夏から猛練習されたとか…。演奏場面も全然違和感がありませんでした。番組内容はさておき、コロナ禍で各地のオーケストラが運営に疲弊している中、オーケストラを題材にした番組を制作されたことに歓迎の意を表したいと思います。まるでiPhilの事を描写しているのではないかと感ずる場面も多々あります…。 <日本海TV「リバーサルオーケストラ」(水曜夜10時)>

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】